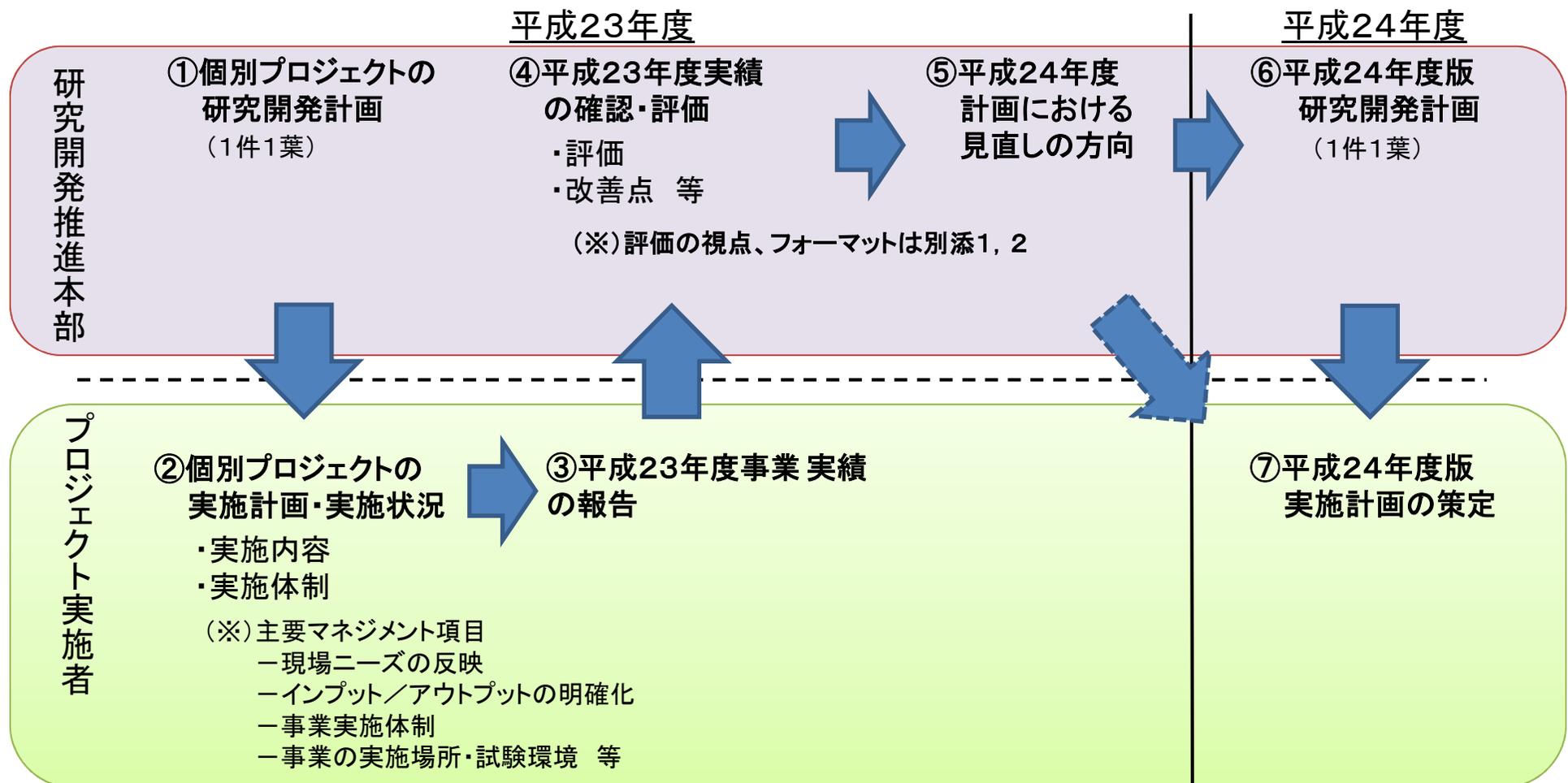


平成23年度研究開発プロジェクトの評価の進め方(案)

「研究開発計画(平成23年12月21日)」においては、「研究開発の成果が得られる段階等の節目において、次の段階に進めるかどうかの判断は、技術の実現性・妥当性を評価して行う。また、現場の状況、関連研究や作業の進捗状況等について関係機関の間で十分連携をとり、必要に応じて計画を見直していく。」こととされている。このため、平成23年度末を迎えるにあたり、個別研究開発プロジェクトの評価を行い、平成24年度計画を見直すこととする。



個別研究開発プロジェクトの評価の視点

平成24年2月27日
事務局

1. 事業実施内容(全般)

(1) 目標・計画の達成状況

- ・個別のプロジェクトの目標・計画を達成したか
 - －成果
 - －内容
 - －スケジュール
- ・目標を達成するための効果的な工夫を図ったか
- ・プロジェクトの成果が活用されているか

2. 事業実施内容(特記事項)

(1) 現場ニーズの反映

- ・現場ニーズを反映した課題、優先順位を設定しているか
- ・常に現場の状況を踏まえて計画の見直しを行ったか
- ・常に現場の状況を踏まえて計画の見直しを行う体制を構築しているか

(2) インプット／アウトプットの明確化・共有

- ・プロジェクトを実施するにあたっての前提や必要となるデータ、得られるデータ・情報など目指すべき成果が明らかになっているか
- ・プロジェクトの成果が明確であり、他のプロジェクトに共有されているか

3. 事業実施体制

(1) 実施者の内部体制・役割分担

- ・効率的・効果的にプロジェクトを実施する体制を構築しているか
- ・プロジェクト実施者内部の役割分担が明確にされているか
- ・プロジェクト実施者内部の関係者間で密接な連絡・調整を図る体制が構築されているか

(2) 外部機関の叡知の活用

- ・外部機関等の専門知見・ノウハウ等を取り入れる体制としているか
- ・実際に、外部機関等の専門的知見・ノウハウ等を取り入れたか
- ・特に、海外有識者や国際機関が有する知見を活用する検討を行ったか

4. その他

その他、特筆すべき成果等があれば記載

プロジェクト名: _____ 実施者: _____ ワーキングチーム名: _____

	平成23年度事業実績(プロジェクト実施者が記入)	平成23年度事業実績の評価 (プロジェクト実施者による自己評価(改善点含む))	平成23年度事業実績の評価 (研究開発推進本部による評価)	平成24年度事業計画における見直しの方向
事業実施内容(全般)				
(評価の視点)				
○目標・計画を達成したか ー実施内容 ー成果 ースケジュール				
○目標・計画を達成するための効果的な工夫が図られたか				
○成果が活用されたか				
事業実施内容(特記事項)				
現場ニーズの反映				
インプット/アウトプットの 明確化・共有				
事業実施体制				
実施者の内部体制・役割 分担				
外部機関の叡知の活用				
その他				